

日商1級
全経上級

第170回 (2025年11月) 日商簿記検定合格目標
第219回 (2025年7月) 全経簿記検定上級合格目標

直前対策

Web通信

Webライブ

教室通学

資料通信
(全国統一公開模擬試験のみ)

映像通学

日商1級&全経上級

W合格狙いが目標への最短距離！

日商1級&全経上級W受験をオススメする理由！

①日商1級合格を目標とする方

日商1級と全経上級は同じ論点が違う角度で問われますので、全経上級のトレーニングを通じて、論点のより深い理解を得ることができます。この勉強が日商1級の合格の可能性を飛躍的に高めます！

②税理士受験資格取得を目標にする方

全経上級は年2回実施。日商1級と合わせると税理士受験資格の取得機会が"年4回"となります。さらに、全経上級のトレーニングを通じて、論点のより深い理解を得ることができますので、合格後、新たな目標となる税理士試験簿記論、財務諸表論の合格の可能性を飛躍的に高めます！

■日商1級受験後に全経上級を狙う！



日商1級と全経上級の学習範囲はほぼ同じだから、少しの対策で全経上級が狙えます！

■日商1級に再チャレンジ！



全経上級の学習・受験経験が日商1級合格のための大きなアドバンテージに！

全経簿記上級

全経簿記上級直前対策パック

1級学習経験者対象 (全13回)

開講案内

Web通信 お申込後、随時発送

映像通学 お申込後、随時視聴

受講料 (消費税10%込) ※入学金免除

39,000円～

詳細・お申込みは資格の大原ホームページにて！

日商簿記1級

1級直前対策パック

1級学習経験者対象 (全30回)

開講案内

Web通信 7/8(火)より発送開始

映像通学 7/8(火)より視聴開始

Webライブ・教室通学 8/2(土)より開講

受講料 (消費税10%込) ※入学金免除

81,100円～

詳細・お申込みは資格の大原ホームページにて！

1 級解答速報

模範解答および採点基準は、学校法人大原学園が独自の見解で作成しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更する場合があります。

模範解答等の著作権は学校法人大原学園に帰属します。

1 級：商業簿記

問 1 損益計算書を完成しなさい。

損 益 計 算 書			
自 20X5 年 4 月 1 日 至 20X6 年 3 月 31 日		(単位：千円)	
I 売 上 高		(①	2,665,600)
II 売 上 原 価			
1 商 品 期 首 棚 卸 高	(①	116,250)	
2 当 期 商 品 仕 入 高	(①	2,017,500)	
合 計	(	2,133,750)	
3 商 品 期 末 棚 卸 高	(①	139,500)	(1,994,250)
売 上 総 利 益			(671,350)
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
1 販 売 費		227,745	
2 一 般 管 理 費		150,400	
3 租 税 公 課		2,910	
4 貸 倒 損 失	(①	20,386)	
5 貸 倒 引 当 金 繰 入	(①	20,366)	
6 減 価 償 却 費	(①	113,932)	
7 資 産 除 去 債 務 利 息 費 用	(①	1,345)	
8 商 品 保 証 引 当 金 繰 入	(①	26,056)	(563,140)
営 業 利 益			(108,210)
IV 営 業 外 収 益			
1 有 価 証 券 評 価 損 益	(①	3,000)	
2 受 取 利 息	(①	72,743)	
3 受 取 配 当 金	(①	3,679)	(79,422)
V 営 業 外 費 用			
1 為 替 差 損	(①	375)	
2 社 債 利 息	(①	977)	(1,352)
経 常 利 益			(186,280)
VI 特 別 損 失			
1 固 定 資 産 売 却 損			4,600
税 引 前 当 期 純 利 益			(181,680)
法人税、住民税及び事業税	(①	54,504)	
当 期 純 利 益			(127,176)

問 2 20X5 年度の貸借対照表における次の(1)～(5)の金額を求めなさい。

(単位：千円)

(1) 貸倒引当金(総額)	(2) 社債	(3) 資本準備金	(4) 圧縮積立金	(5) その他有価証券 評 価 差 額 金
② 23,287	② 98,427	② 160,955	② 150,000	② 3,200

①×15 箇所、②×5 箇所 計 25 点
無断転用・転載を禁じます。

1 級：会 計 学

第 1 問

1	2	3	4
① ウ	① エ	① ア	① 工

第 2 問

(単位：千円)

	資産A	資産B	資産C	資産D	のれん
減 損 損 失	② 77,000	20,000	② 20,000	0	② 800,000
帳 簿 価 額	223,000	② 430,000	480,000	② 200,000	0

第 3 問

注 1 解答は百万円単位で行い、仮に百万円未満の端数が生じた場合は四捨五入して百万円単位で答えること。

注 2 該当がない項目には 0 を記入すること（斜線が入っている項目は解答する必要はない）。

問 1

	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
① 契 約 資 産	0	① 2,400	0	
②顧客との契約 から生じた債権	0	0	① 3,200	
③ 契 約 負 債	① 160	0	0	
④ 工 事 収 益	① 1,440	① 5,760	① 800	
⑤ 工 事 原 価	1,170	4,950	600	

問 2

	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
① 工 事 収 益	① 400	3,320	① 1,380	900
② 工 事 原 価	400	① 2,700	2,400	① 910

問 3

	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
① 工 事 収 益			① 2,655	
② 工 事 原 価			2,340	

①×15 箇所、②×5 箇所 計 25 点

無断転用・転載を禁じます。

1 級：工業簿記

①	30, 000	(円)
②	借方差異 貸方差異 (適切な方を○で囲む)	
③	100, 000	(円)
④	管理可能差異 管理不能差異 純粋価格差異 混合差異 (適切なものを1つ○で囲む)	
⑤	20, 000	(円)
⑥	5, 200	(円)
⑦	0. 05	(時間)
⑧	600	(円)
⑨	120, 000	(円)
⑩	20, 000	(円)
⑪	100, 000	(円)
⑫	予 算 能 率 操 業 度 (適切なものを1つ○で囲む)	
⑬	2, 000	(個)
⑭	4, 000	(円)
⑮	7, 200, 000	(円)
⑯	10, 000	(円)
⑰	350, 000	(円)
⑱	変動費のみの配賦率 変動費と固定費と合わせた配賦率 (適切な方を○で囲む)	
⑲	90, 000	(円)
⑳	500, 000	(円)
㉑	36, 000	(円)
㉒	借方差異 貸方差異 (適切な方を○で囲む)	
㉓	104, 000	(円)
㉔	借方差異 貸方差異 (適切な方を○で囲む)	
㉕	82. 5	(%)

1 点×25 箇所 計 25 点

1 級：原価計算

第 1 問 ④×2 箇所、②×2 箇所 計 12 点

問 1 計画営業利益

④ 383,000 円

問 2 1 人当たり受講料が

④ 16,280 円

を超える必要がある

問 3 受講者数

② 65 人

のときがもっとも有利であり

そのときの計画営業利益は

② 542,150 円

となる。

第 2 問 ①×13 箇所 計 13 点

問 1

(単位：千円)

	F 事業部	W 事業部
売上高	(60,000)	(45,000)
変動費	(16,000)	(10,000)
貢献利益	(① 44,000)	(35,000)
管理可能固定費	(33,600)	(① 25,500)
管理可能利益	(10,400)	(9,500)
管理不能固定費	(① 2,600)	(2,100)
事業部利益	(7,800)	(① 7,400)

問 2

加重平均資本コスト率

① 5.5 %

問 3

投下資本利益率 F 事業部

① 7 %

W 事業部

① 9.5 %

残余利益 F 事業部

① 1,560 千円

W 事業部

① 2,800 千円

問 4

①	① 9.24 %	②	① 3,179 千円
③	採用する	・	採用しない
④	採用する	・	採用しない

適切な方を○で囲むこと ①

適切な方を○で囲むこと ①

①×13 箇所、②×2 箇所、④×2 箇所 計 25 点